

(3) 交通のうつりかわりと町のようす

常葉町は、中通りをむすぶじゅうような宿場町としてさかえてきた。町を東西に走る郡山・双葉線（今の国道288線）を中心に発てんしてきました。

① 鉄道の開通

郡山といわき市をむすぶ磐越東線は、今から80年前ころにできました。鉄道が町内を通る計画もありましたが、となりの船引町を通り、船引町今泉地区に磐城常葉駅がもうけられました。鉄道が開通した当時は、町民の多くが駅まで5kmの道を歩いて利用しました。

② 道路の発たつ

町の発てんとともに、道路のはばが広くなり、長さがえん長されるなどして道路がよくなりました。



今の国道288号線（町内）